# 内丸地区将来ビジョン（概要版）



## 1 はじめに

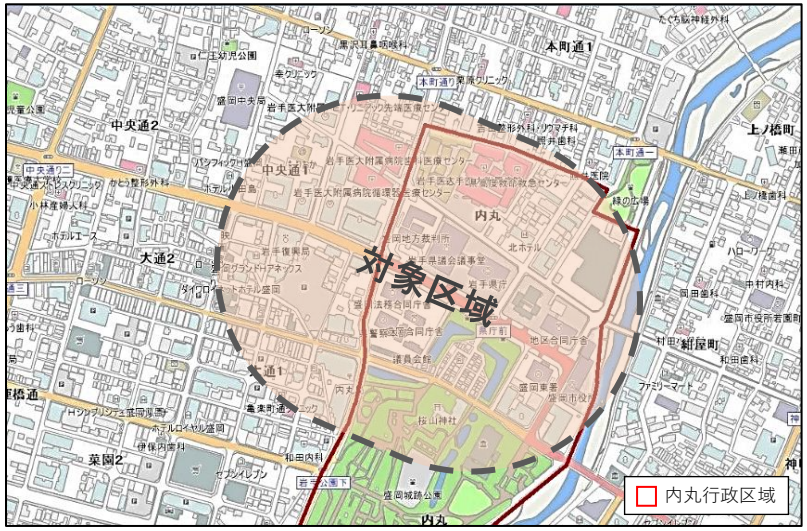
### (1) ビジョン策定の目的

盛岡市や岩手県の社会経済活動の中心である内丸地区において，建物群の老朽化や官公庁の一部移転，中心市街地の吸引力低下等が課題となっている。少子高齢化や人口減少が進行する中，市が将来にわたって活力を維持するとともに，まちの魅力や盛岡らしさを次世代に継承していくためには，将来的なまちづくりを見据え，その中心である内丸地区のあり方を検討する必要がある。

このことから，**内丸地区のあるべき将来像**と，その**実現に向けた取組の方向性**を取りまとめるため，本ビジョンを策定するもの。

### (2) ビジョンの対象区域

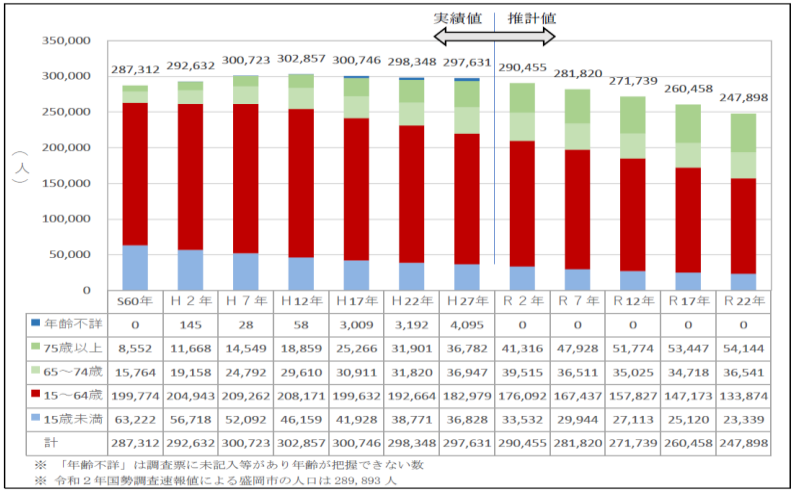
**内丸行政区域**と，内丸の官公庁エリアから連担する**中央通沿いのオフィスビルが立地する業務エリア**及び**その周辺の区域**を，概ねの対象とする。




## 2 盛岡市の将来見通し

### (1) 人口

市の人口は今後も減少し，少子高齢化が進む見込み。
（2040年人口　247,898人，2015年比指数83.3）




| | S60年 | H２年 | H７年 | H12年 | H17年 | H22年 | H27年 | R２年 | R７年 | R12年 | R17年 | R22年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年齢不詳 | 0 | 145 | 28 | 58 | 3,009 | 3,192 | 4,095 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 75歳以上 | 8,552 | 11,668 | 14,549 | 18,859 | 25,266 | 31,901 | 36,782 | 41,316 | 47,928 | 51,774 | 53,447 | 54,144 |
| 65～74歳 | 15,764 | 19,158 | 24,792 | 29,610 | 30,911 | 31,820 | 36,947 | 39,515 | 36,511 | 35,025 | 34,718 | 36,541 |
| 15～64歳 | 199,774 | 204,943 | 209,262 | 208,171 | 199,632 | 192,664 | 182,979 | 176,092 | 167,437 | 157,827 | 147,173 | 133,874 |
| 15歳未満 | 63,222 | 56,718 | 52,092 | 46,159 | 41,928 | 38,771 | 36,828 | 33,532 | 29,944 | 27,113 | 25,120 | 23,339 |
| 計 | 287,312 | 292,632 | 300,723 | 302,857 | 300,746 | 298,348 | 297,631 | 290,455 | 281,820 | 271,739 | 260,458 | 247,898 |

※「年齢不詳」は調査票に未記入等があり年齢が把握できない数
※ 令和２年国勢調査速報値による盛岡市の人口は 289,893 人

盛岡市の人口の推移と将来推計

### (2) 就業人口・従業人口

① **就業人口**　※市内に常住する就業者の数

人口減少・少子高齢化により市の就業人口は減少の見込み。
（2040年生産年齢人口　2015年比指数 73.2）

② **従業人口**　※市内を従業地とする就業者の数

市内への通勤・通学者が多い広域８市町村も市と同様に人口減少・少子高齢化が見込まれ，市の従業人口は減少の見込み。

### (3) 交通

人口減少や高齢化により自動車免許保有者数は減少の見込み。
高齢者の移動手段として公共交通機関の重要性が高まる想定。

## 3 内丸地区の現状

### (1) 中心市街地等の現状

**① 内丸地区**

行政・医療・金融・報道機関，文教施設が立地
隣接する中央通を中心に多くのオフィスが集積
周辺地域に消費や交通利用など副次的な経済効果
盛岡城跡公園周辺に歴史・観光散策エリア

} 行政・経済の中心エリア

**② 大通・菜園地区**　メインストリート・飲食・サービス・エンタメエリア

**③ 河南地区**　古き良きものと再開発が同居する賑わいエリア

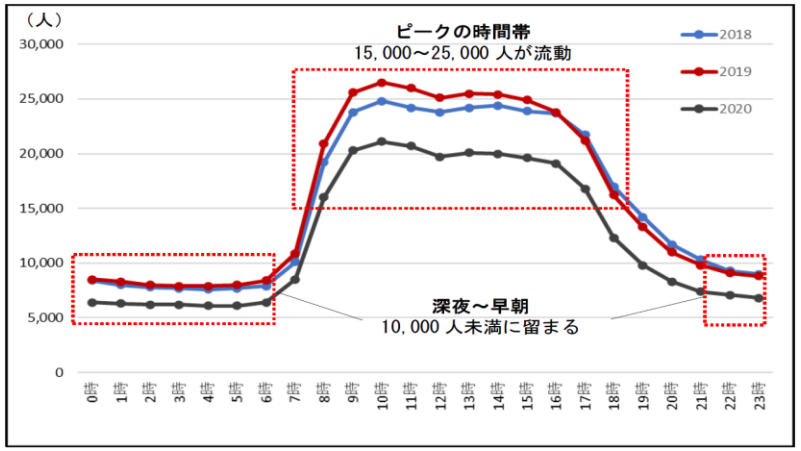
**④ 盛岡駅東口地区**　近郊交通・観光拠点サービスエリア

**⑤ 盛岡駅西口地区**　高速・広域交通拠点・対外ビジネスエリア

**⑥ 盛南新都市地区**　自動車アクセス優位の生活・ビジネスエリア

**④ 昼夜間，平日休日の流動人口**

平日は１日15,000人～25,000人が内丸地区付近で流動

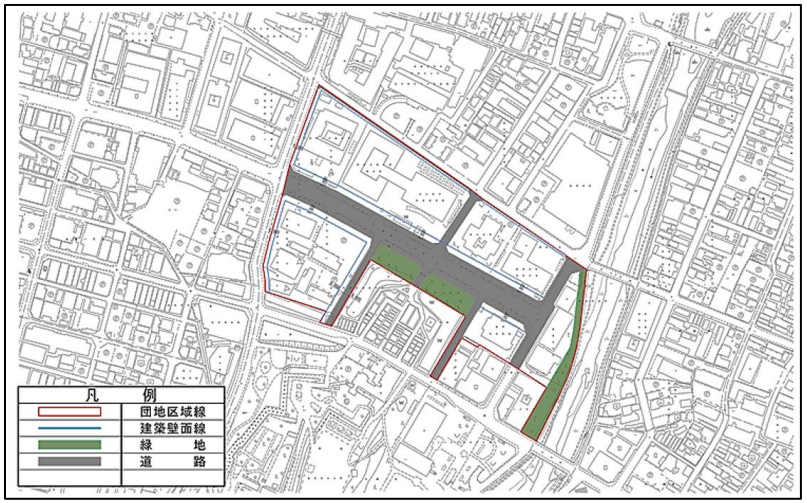



※ 携帯電話アプリ利用者の位置情報（各年６月 岩手県庁付近）

### (2) 内丸地区の特徴

**① 一団地の官公庁施設**

昭和32年に「内丸団地」を全国第１号として都市計画決定。
官公庁の集約による利便性・公務能率の向上，建物の不燃化，
土地建物の高度利用，新たな時代の都心イメージを構築。




| 建ぺい率 | 容積率 | 壁面の位置 | 最低限高度 | 建築物の用途 | 附帯施設 |
|---|---|---|---|---|---|
| 40%以下 | 100%以上 | 一部に制限あり | 10m<br>（一部除外あり） | 国，岩手県，<br>盛岡市等 | 道路，緑地 |

内丸団地の区域と土地利用制限

**② 道路・交通**

都市計画道路５路線を配置，交通量が多く朝夕には渋滞発生。
路線バスの利便性は高く，１日1,500本が地区内を運行。

**③ 駐車場**

中心市街地の一般駐車場は増加傾向。観光バス駐車場は限定的。

## 4 内丸地区の課題

### (1) 築50年を超える建物群

**① 多くの建物が老朽化**

市庁舎本館，県庁舎，県盛岡地区合同庁舎，県議員会館，
国盛岡合同庁舎，金融・報道機関等の建物の一部が築50年超。

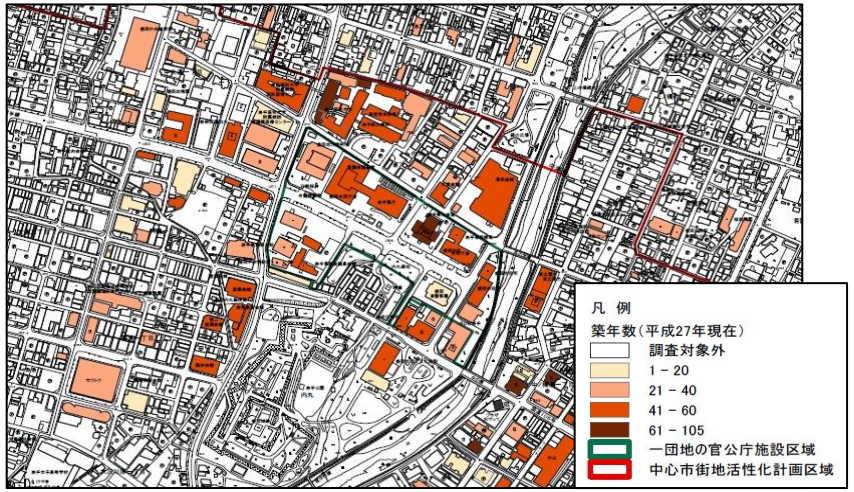
**② 敷地が狭隘で余剰面積が少ない**

現在地への建替えは一時移転を要するため時間・費用面で不利。

**③ 官公庁の一部が地区外へ移転**

平成23年 盛岡合同庁舎１号館
平成28年 盛岡中央消防署
} ともに駅西口地区へ。

「一団地の官公庁施設」について検証が必要。




建築物の状況（築年数）

### (2) 市庁舎の老朽化，建替え

**① 老朽化と建替え用地の確保**

本館：昭和37年竣工（築59年），平成22年～25年に耐震補強工事
別館：昭和59年竣工（築37年）
近い将来建替えが必要であり建替え用地について要検討。

**② 洪水災害の危険性**

洪水時の浸水想定区域にあり防災機能の面で対策が必要。

**③ 市庁舎の機能分散等**

人口増加，合併，権限移譲等により分庁舎に機能が分散。
本庁舎は敷地が狭隘で駐車場が不足，付近の交通にも影響。

### (3) 中心市街地の経済動向

**① 吸引力の低下**

小売店舗は売場面積・販売額ともに減少傾向。
市全体における相対的な吸引力の低下が懸念。

**② 流動人口の減少**

内丸地区付近の流動人口は平日，休日ともに減少傾向。
人口減少や生活様式の変化が地域経済に影響する可能性。

### (4) 岩手医科大学の移転

**① 移転による地域への影響**

令和元年９月に附属病院が矢巾町へ移転。
人流減少により周辺地域に大きな変化が生じる可能性。

**② 跡地の利活用**

隣接地に新たな内丸メディカルセンターの建設を計画。
岩手医科大学では跡地の利活用について検討中。

## 5 内丸地区の将来像

### (1) 重視すべき視点

### (2) 内丸地区のあるべき姿

**県都の核として社会経済を牽引するまち内丸**

ICTの進展を背景にした多様な機能集積
盛岡・岩手に育まれた価値や魅力を世界に発信
広域にわたる相乗的な経済効果を発揮
災害発生時にも生命・財産を守る機能を持続
地区一帯に強靭なインフラ

**城下の風格と都心空間が調和するまち内丸**

歴史的な観光資源の魅力向上，自然と調和した景観
個性的な店舗が醸す界隈性，回遊性の向上
盛岡ならではの魅力，広域観光への波及効果
超高齢社会に対応した公共交通網・都市インフラ
移動しやすく滞留したくなる空間の創出

**英知が集い未来を創造するまち内丸**

従前からある機能の維持・強化
多様な機関・企業などが一体的な取組
地域課題の解決に貢献する商品・サービスの創造
海外との提携も視野に時代の変化に対応
収益や人材の好循環でまちに活力を与え続ける

## 6 今後の取組の方向性

(1) ビジョンの推進に向けた総合調整等

・地区全体の建物の再配置を市が総合調整
・内丸エリア外に分散している機能の集約
・官公庁と民間事業者との複合化

(2) 都市計画の検討

・将来像を踏まえた「一団地の官公庁施設」の見直し
・市民参加による代わりとなる地区計画等の策定
・土地利用についての新たなルールづくり

(3) 災害時の対応力強化

・庁舎自体の防災機能・電気通信などのインフラ強化
・避難者受入れや物資の備蓄ができる空間・設備の整備
・官官／官民連携による新たな防災地域モデルの構築

(4) ゆとりと潤いのあるにぎわい空間の創出

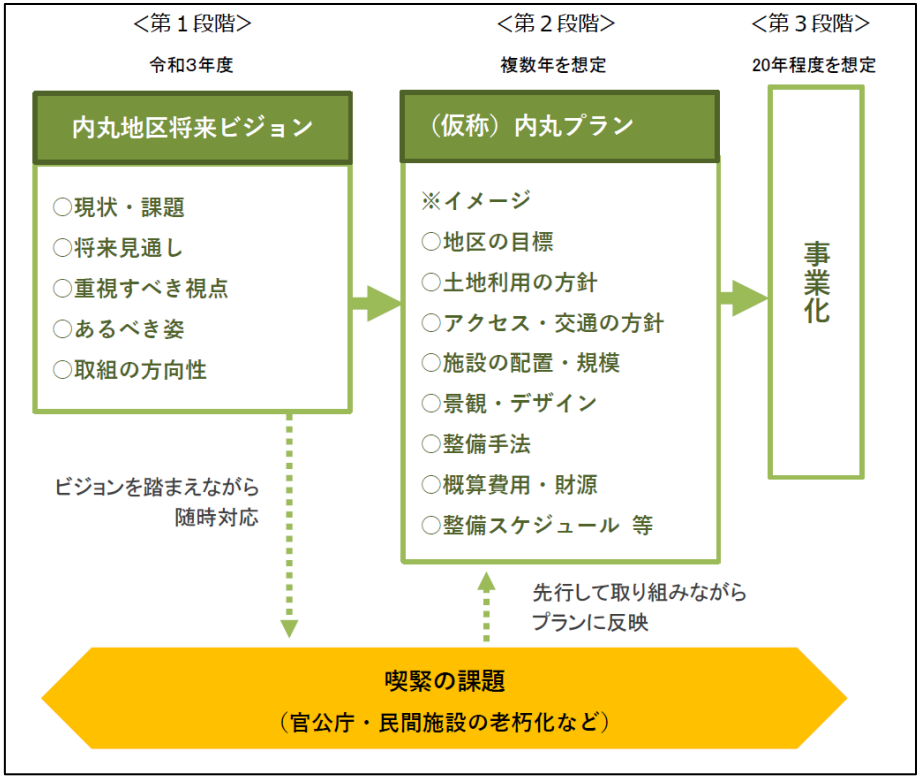
・ユニバーサルデザインに配慮した歩道整備
・居心地の良い空間の創出，ウォーカブルなまちづくり
・効率的な土地利用で生じる余剰地への駐車場整備

(5) 新たな価値を生み出す拠点の整備

・集積する機関・企業などが技術や研究成果を結集
・オープンイノベーションのハブとなる拠点の整備

## 7 ビジョンの具現化に向けて

ビジョンの具現化に向けた進行イメージ




第１段階：内丸地区将来ビジョンの策定 ･･･ 基本的な考え方
第２段階：（仮称）内丸プランの策定　･･･ 具体的な事業手法等
第３段階：事業着手